

3. 赤ちゃんの検査・お薬について

(1) 先天性代謝異常検査について

- ・先天性代謝異常とは、生まれつきの身体の中の酵素の働きやホルモンの異常によって起こる病気のことです。早期の発見や治療が重要です。
- ・生後5日目の赤ちゃんに行う検査で入院時に申し込み用紙への記入をお願いしています。(入院時に申し込み用紙をお渡しします。)
- ・検査結果は1ヶ月健診の時に異常がないことを小児科外来で確認してください。再検査が必要な場合は申込書に記入して頂いた連絡先に連絡があります。

(2) ビタミンK欠乏症の予防について

- ・ビタミンK欠乏症とは非常に少ない割合ですが、乳幼児期に主に消化器出血や頭蓋内出血という形で起こる疾患です。
- ・これはビタミンK製剤を与えることにより、殆どが予防可能ということがわかっています。そこで生後1日目と退院前日、その後は生後3ヶ月まで1週間に1回、ビタミンK2シロップを飲みます。詳しくはお産後説明します。

(3) 新生児聴カスクリーニング検査について

- ・当院では生後2日目から退院までの期間の赤ちゃんの聴力検査を実施しています。
- ・生まれながらに難聴を抱えている新生児は、正常新生児では1,000人に1~2人存在すると言われています。
- ・以前は赤ちゃんの聴力が正常かどうかは、2~3歳にならなければ判定ができませんでしたが、最近は生後すぐから行える聴力検査装置が出来ました。検査方法も寝ている赤ちゃんに特殊な器械でヘッドホンのようなイヤークプラから音を聞かせ、その脳波を見るもので痛みもなく安全に検査ができます。要する時間は数分から10分程度です。
- ・もしも異常が見つかった場合には再検査、精密検査を受けることとなりますがその際は詳しくご説明いたします。
- ・正常の場合には結果は母子手帳に添付いたします。
- ・検査料金は正常児の場合には新生児管理料に含まれます。
- ・低出生体重児などのリスクのある新生児では医療費に含まれ保険の適応になります。

